

輝くねむろ

We Love Nemuro!



オンラインワンの観光を目指して

昨年、「地域力創造アドバイザー事業」のアドバイザーとして就任していた新谷耕司さん。バードウォッチングを核にした体験観光商品の開発に、地域とともに取り組んできました。

以前から、根室の豊かな自然に生息する野鳥の魅力の虜となっていた新谷さんは、ANA総合研究所を早期退職し移住を決断。この4月に根室市観光開発公社の管理職に就き、道の駅の駅長を務めます。

新谷さんが、仕事以外に将来打ち込めるものを探していたときに、出会ったのがバードウォッチング。回を重ねる

たびに鳥の種類も分かり、ほかの地域の野鳥も見てみたいと参加したツアーで根室を訪れたのが、バードウォッチングを始めて1年目のことでした。「観光を目玉に活性化を図ることは、これから大切なこと。根室を日本全国そして世界に紹介するためには、まねではないオンラインワンを見つけることがカギとなります。」根室の野鳥はまさにオンラインワンであり、すばらしい環境と絶賛します。

新谷さんの知識と経験、そして根室を愛する大きな想いが、根室観光の活性化につながることに期待します。



道の駅で春国産の鳥たちを案内する新谷さん

profile 新谷 耕司 さん

道の駅スワン44ねむろ駅長

1956年京都市生まれ。早稲田大学を卒業後、全日本空輸株式会社に入社。米国ハーバード大学ケネディ行政大学院を卒業し、全日本空輸株式会社ベルギー王国ブリュッセル営業所長を経てANAセールスヨーロッパ代表取締役社長に就任。2006年株式会社ANA総合研究所に転向し、主席研究員として「首都圏の航空政策」を研究。2009年総務省「地域力創造アドバイザー事業」の根室市担当アドバイザーに就任。2010年4月から株式会社根室市観光開発公社常勤管理職となる。



親子のふれあいつきずなを育て、ブックスタート事業がスタート。4月から「7カ月児健康相談」に参加する赤ちゃんとその保護者を対象に、「ブックスタート事業」を開始しました。「ブックスタート」とは、赤ちゃんを保護者に絵本に親しむ体験をしてもらい、絵本を贈ることで、読み聞かせと心ふれあうひと時を持つきっかけをつくるものです。赤ちゃんの言葉と心を豊かに育むためには、楽しいふれあいの中で、優しく語りかけてあげる時間がとても大切です。「なぜ、絵本なの?」と思われる方もいると思いますが、絵本にはあたたかな色彩の絵があり、リズムカルな言葉があふれています。赤ちゃんに優しく語りかける要素がたくさんつまっています。ぜひ、お父さん、お母さんの優しい声で、赤ちゃんに語りかけてあげてください。読み聞かせを通して、お子さんのきずなを育みましょう。お子さんの健やかな成長を、地域全体が応援しています! 「7カ月児健康相談」を迎えるご家庭の皆さんが、赤ちゃんと一緒に来てくれることをお待ちしております。

図書館からの おくりもの

司書 神内 舞衣子
図書館 TEL (23) 5974 番



4月14日の7カ月児健康相談でのブックスタート